



いつ起るかわからない災害 災害への備えと心構えは必要



七月六日(日)十時より北九州パレスにて第三十二回ボランティア研修会を開催しました。事務局を含め総勢三十三名が参加しました。

今回は講師に北九州市小倉北消防署予防課長 神田徹氏をお迎えして「知って安心、災害への備え」『イザ災害!あなたなら、どうする?』と題して講演していただきました。

私たちの身近で起こる地震や集中豪雨などの事について詳しく教えていただきました。阪神・淡路大震災を始め、最近では国内の各地で大きな地震が起こっています。北九州市でもいつ大きな地震が起きるかは分かりません。だからこそ、少しでも災害への備えと心構えは必要なのです。

地震について

- ★地震には、三種類あります。プレート境界型地震や火山活動による地震
 - ★活断層による地震
 - ★地下岩盤の活動に伴う地震
- その中で、活断層は北九州市にもありますが、調査の結果、市内活断層には差し迫った活動の危険性がないとの事です。マグニチュードと震度



の違いは、地震のエネルギーの大きさ(規模)をマグニチュード、各地域での地震の揺れの大きさを震度といえます。一般的にマグニチュードが大きくても、震源が遠い場合や、深い場合は震度が小さく、逆にマグニチュードが小さくても、震源が近い場合や浅い場合は震度が大きくなります。阪神・淡路大地震で亡くなった8割の方は家屋倒壊や家

水害について

集中豪雨は、台風や、梅雨の時期、また大気不安定な状態が続くと起こりやすくなります。土砂災害や河川の氾濫、家屋の浸水を警戒しなければなりません。

北九州市は昭和二十八年に北九州大水害を経験しました。門司駅周辺でも土砂崩れや住宅の浸水や道路の冠水など大変な被害がでました。北九州市の地形は海の近くまで山が迫り、平地が少ないため、山を這い上がるように住宅が密集している地区があります。石垣の上に建っている住宅は、地中に雨水が染み込まないようにコンクリートやビニールシートで土の箇所を覆ったり、石垣の間から土砂が流れ出ないように、セメントでメジを詰める等の措置を各住宅で講じてください。また被害を最小限に食い止

めるためにも事前の備えが大切です。家族で次のようなことを話し合い、防災意識を高めます。★家の周囲の危険箇所を全員で認識。

★避難場所はどこか、どのルートで避難するか

★どうやって連絡を取り合い家族がどこに集まるか。

★非常持出品や消火器・救急箱の準備や、子供や高齢者がいる場合は安全確保などの役割分担を決める。

★台風や豪雨などの時は情報を集めることも必要なことです



北九州市運営協議会委員に選出

山田理事長「福祉有償運送」を行う団体の代表として開催された、今年度第一回運営協議会に出席し、移送団体としての意見をのべました。山田理事長談

移送団体の代表として参加するわけですが、移送に携わる者としてではなく、利用者の視点からも積極的に意見を出していきたいと思います。

山田理事長は、「福祉有償運送」を行なう団体の代表として、選ばれました。山田理事長は、七月四日に



テレビやラジオ、北九州市インターネットから天気予報やニュースで、注意報や警報などを確認しましょう。



北九州市では1校区に1消防隊が配置されており、地域に密着した活動をしています。集会所での研修会、防火訪問、住民や中学生と防災・防犯マップづくり、などが始められ、地域の細かなところまで把握するように対策が進められています。北九州市防災情報のアドレスは、<http://kitakyushu.bosai.info>

研修会に参加して

参加していただいた皆様より多くの感想をいただきました。紙面上の都合により一部ですが掲載させていただきます。

予防の必要性を痛感

小倉事業所 ボランティア

永淵 寛

今回の研修は「知って安心、災害への備え」と題して小倉北消防署予防課課長より、地震や風水害に対する予防や対応策について事例を取り上げて詳細に説明を受けて、大変有意義な研修会でした。北九州市では、地震などには無縁の場所だと安心していましたが、今回の研修会で改めて予防の必要性を痛感した次第です。

この研修内容を活かし、不慮の災害時に備えたいと思っております。今後とも研修会などを通じて市民の安全と安心を届けられる事を祈念いたします。ありがとうございました。



防災には平時からのためまめ訓練が必要

小倉事業所 ボランティア

瀬戸 弘

今回の研修会で北九州の防災組織を知ることができ、大変有意義でした。しかしこの組織を市民に周知させ機能する為には相当の努力が必要だと思いました。防災には平時からのためまめ訓練が必要です。

また我々ボランティアと関係のある高齢者や、要介護者をどのように対応するか等についてのお話も聞き

たかったと思いましたが、時間の関係で質問できませんでした。研修会を企画して下さいり知識が広まりました。ありがとうございます。

現在私に何が出来るか宿題です。天災はいつ我が身にふりかかるかわかりません。



暑中お見舞い申し上げます

今年も暑い夏がやってきました。皆様、くれぐれもお身体ご自愛ください。

お盆休みのお知らせ

8月13日(水)より

8月17日(日)まで

お休みさせていただきます

事務局より



定期的に自分の目で点検しなくては...

八幡事業所 ボランティア

安部 昌子

資料から阪神淡路大震災のような大地震が差し迫って怒る危険性はないというものの、昨今、あちらこちらで大なり小なり大変な地震があつてます。

ひとごとではなく、まして身近な八幡東区の様子を見て聞いて、天災とはいいなながらも、自分達である程度観察して防げる手だてはあるものだと感じました。

我が家も北九州市都市高速を真下に見る位置に住んでいるので、定期的に自分の目で点検しなくてはと思いました。

「イザ災害!あなたならどうする?」に対し「はい、逃げます」じゃなく、日頃の心構えが必要ですね。

具体的な対処の話がもう少し聞きたかった

八幡事業所 ボランティア

八丁 百合子

講師の方のお話は体験を交えて興味深いものでしたが、防災の手引に書いてあるような具体的な防災の知識や被災した時の対処等がもう少し詳しくお話頂けたらよかったです。

いろいろな角度からボランティア研修会を企画して頂き有難いと思っております。ありがとうございます。

「備え」について学ぶことの大切さ

八幡事業所 ボランティア

弓 和歌子

日本に限らず世界のいたる所で地震や災害のニュースが絶えない昨今、そのようなニュースもヒトゴトのように聞いていた私には災害への備えに対する意識に欠けていた所がありました。

今回、参加させていただいたことで家具の置きかた一つでも意識することで助かる命をつくれる「備え」がある事を知り、この様な研修へ参加し「備え」について学ぶことの大切さをとても感じました。

また、地域の消防の取組みの素晴らしさも知る事ができました。

明日は我が身という意識をもつ少し持ち、あらゆる災害場面を想定し、避難場所や緊急連絡先の確認などを行い、「備え」を改めたいと思います。

